



開設当初からの蔵書であることを示す印が押された貴重な図書類

10月に創立100周年を迎えた江刺図書館で10月18日、大きな節目の年を記念して講演会が開かれました。江刺史談会の荻田耕造会長が「岩谷堂図書館の思い出」と題して講演し、幼いころの読書体験に基づくエピソードなどを披露しました。江刺図書館は、明治41年10月に岩手県教育会江刺部会による

私立図書館（大正11年に公立として創設され、翌年岩谷堂尋常高等小学校内に開設。蔵書366冊でスタートし、現在は約11万冊を数えるまでになりました。同館では、記念事業として100年をテーマとした特別企画展を計画しており、11月26日から「赤毛のアン その100年」が開かれる予定です。

江刺図書館創立100周年を記念

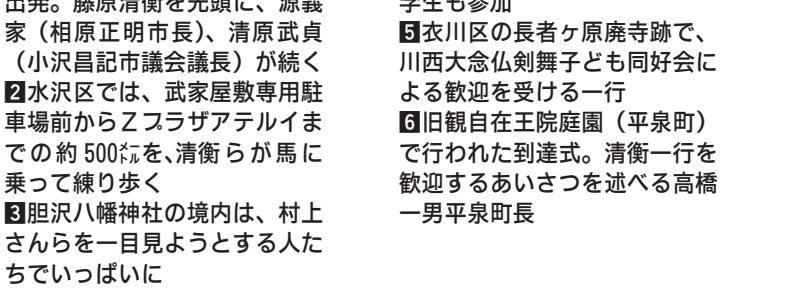
市の出来事から

主役の藤原清衡を務めた村上弘明さん。キリリと引き締まった顔立ちに装束がよく似合います



藤原清衡が江刺郡豊田館から平泉へ本拠を移したという「吾妻鏡」の記録を基に再現した「清衡公遷都行列」は10月4日、市内を巡回しながら平泉町を目指すコースで行われました。清衡役で俳優の村上弘明さん率いる60人の行列は、自治区ごとに郷土芸能披露や特産品の献上を受けながら、無事、旧観自在王院庭園に到着しました。市として初の試みでしたが、各地で多くの歓迎を受け、大成功に終わりました。

村上「清衡公平泉に到達



1 豊田館で遷都行列の成功と安全を祈願後、えさし藤原の郷を出発。藤原清衡を先頭に、源義家（相原正明市長）、清原武貞（小沢昌記市議会議長）が続く
2 水沢区では、武家屋敷専用駐車場前からZフラザアテルイまでの約500mを、清衡らが馬に乗って練り歩く
3 胆沢八幡神社の境内は、村上さんらを一目見ようとする人たちでいっぱい

4 前沢区の牛の博物館に到着。行列には童女役として市内の小学生も参加
5 衣川区の長者ヶ原廃寺跡で、川西大念仏剣舞子ども同好会による歓迎を受ける一行
6 旧観自在王院庭園（平泉町）で行われた到達式。清衡一行を歓迎するあいさつを述べる高橋一男平泉町長



佐々木キクエさん(10月23日)



及川トナセさん(10月13日)



高橋喜一さん(10月12日)

江刺、水沢の3人がめでたく百歳

10月には江刺区、水沢区のお年寄り3人が満100歳を迎えました。高橋喜一さん（江刺区玉里字六百刈田沢）は、18歳で幼い兄弟ら9人家族を支える苦労を経験。家も自ら木を切り出して建てるなど、農業を中心にとにかく何でもこなしました。100歳になっても「今までと変わらなく暮らしたい」と穏やかな笑顔を見せてくれました。及川トナセさん（水沢区羽田町字水無沢）は、江刺区栄町に自宅があり、現在は特別養護老人ホームに入所中。手先が器用で造花や人形作りが趣味だったそうです。お祝いに駆け付けた次女の夫・佐藤徳雄さん（79）は「ずっと顔色もいいので、まだまだ長生きできると思う」と話していました。

佐々木キクエさん（水沢区字見分森）は、旧三陸町出身で、4男2女に恵まれました。家庭の事情で昭和53年から養護老人ホームに入所していますが、明るく親しみやすい性格の人気者。俳句クラブに所属し、先日「若きとき稲を刈るのが大得意」と詠んだそうです。3人には、平泉子江刺区長や原田守水沢区長から記念の増沢塗が手渡されました。